

# 協働

～共につくる! 私たちのしが～

「協働プラットフォーム」の設置と  
「協働提案制度」の創設



## 一ム

とで、テーマに応じた対話や協議を行い、  
「階からの協働」を実践します。

地域課題の解決に取り組む  
NPO・企業・地域団体・県民

フォームにて  
テーマを提案

みんなで  
話し合い

(多様な主体の対話・協議の場)

県

市町

金融機関

県民

## 「協働プラットフォーム」のテーマは、随時募集!!

地域や日常の困りごとを、行政と一緒に考え、  
取り組むことから始めませんか。協働プラットフォーム  
のテーマは、広く県民の皆さんからも募集して  
おります。是非ご応募ください。



◆県民の皆さんと一緒に考  
える場である「協働プラット  
フォーム」の設置

協働プラットフォームは、  
県だけでなく県民の皆さんか  
らも県政の課題を提案いただ  
きます。そして、その課題に  
関心のある方ならだれでも参  
加し、自由に対話や協議を行っ  
ていただける場です。

◆県民の皆さんと一緒に取  
り組む仕組みである「協働  
提案制度」の創設

協働提案制度は、協働プ  
ラットフォーム等での県民の皆  
さんと対話・協議した結果を  
踏まえ、予算を付けて事業化  
を進める仕組みであり、他の

都道府県にはない先進的な取  
組です。

◆県民の皆さんとの具体的  
な取組を開始

「協働プラットフォーム」と  
「協働提案制度」の仕組みを  
活かした、県民の皆さんとの  
様々な課題解決に向けた議論  
を踏まえ、「高齢ドライバーの  
運転支援事業」や「犯罪被害者  
等支援コーディネート事業」な  
ど5つの具体的な取組を平成  
29年度から始めています。

大阪で人事の仕事に携わった後、「滋賀で働く人を増や  
したい」と郷里・彦根で企業の採用研修や、まちづくりで滋賀を  
盛り上げる会社を起業しました。昨年2回協働プラットフォーム  
に参加し、既存の就活メディアについて若手の視点による  
編集等を提案。県民の皆さんがもっと気軽に参加して活発な  
議論を交わし、県の事業に関わる場になっていくと良いと感じ  
ました。

INTERVIEW

平成29年度に  
事業化された  
高齢ドライバーの  
運転支援事業



彦根自動車学校  
高柳 鉄之さん

昨年協働プラットフォームに参加させていただき、高齢者の交通安全教育と、社会的課題の問題点を参加者で協議することができました。教習所の立場で高齢者支援を提案し、今年度の事業化が決定しました。ドライブシミュレーター等を使い、従来の安全講習とは違う角度から、高齢者に運転能力や身体機能の低下を自覚してもらいます。課題に対する解決への意識を皆さんと共有できたことが貴重な経験となりました。



協働提案制度

課題を解決するために、事業化を検討します。  
本年度(平成29年度)は5つの事業が予算化されました。



- ① 高齢ドライバーの運転支援事業**  
高齢ドライバーを対象とした運転能力や身体機能の低下程度を見極める講習会の開催。
- ② 犯罪被害者等支援コーディネーター事業**  
犯罪被害者等が、適切な支援を途切れなく受けられるための、コーディネーターの設置や、出張相談・パネル展示などの実施。
- ③ 子どもを虐待から守る「次世代育成プロジェクト」**  
児童虐待に関する視聴覚教材等の作成と、教材の活用による高校生に向けた児童虐待の理解等に関する学習活動の実施。
- ④ 女性の力を活かしたアグリビジネス創出事業**  
農や食に興味のある女性を対象とした交流・相談会等の実施や、女性農業者の経営ステップアップ支援事業の実施。
- ⑤ 山門水源の森獣害防止対策事業**  
シカやイノシシによる希少植物への獣害防止のための、防獣ネット等の設置および資材運搬道の設置。

協働プラットフォーム

県民をはじめとする多様な主体の参加の地域課題を共有することで、「政策形成段階

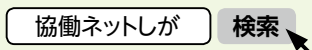


協働ネットしが

滋賀県協働ポータルサイト「協働ネットしが」を2月1日にリニューアルオープンしました。県民の皆さんをはじめ、NPO、公益法人、企業、大学や市町の方が活用しやすい情報を発信し、県民の皆さんの県政への参画と多様な主体間の協働を促進していきます。



<https://www.kyodoshiga.jp/>



▲「協働ネットしが」ホームページ

INTERVIEW

協働プラットフォームに参加して



株式会社いろあわせ  
北川 雄士さん